

平成26年度小野市（普通会計）

バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

平成26年度末の市民1人あたり

資 産	166万8千円（対前年度比 5千円増）
負 債	45万2千円（対前年度比 2千円増）
純資産	121万6千円（対前年度比 3千円増）

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すために作成し、その結果がとりまとまりました。

平成26年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は825億6,697万円となりました。公共施設整備基金の活用や売却可能資産の整理等により前年度から4億2,874万円の減となっています。一方、負債合計は223億9,692万円となり、退職手当引当金の総額が減となったため、前年度から7,807万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は601億7,005万円となり、前年度から3億5,067万円減りました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が706億2,756万円、売却可能資産が9億704万円で、公共資産合計で全体の86.6%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が377億2,768万円、小・中学校の校舎などの教育関係費が201億8,948万円とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が204億5,270万円、流動負債として地方債の平成27年度償還予定額が15億9,013万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は166万8千円、負債は45万2千円となり、純資産は121万6千円となりました。

平成27年9月1日

小野市総務部財政課